

平成24年度学校基本調査（確定値）の公表について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。
今般、平成24年度の確定値をとりまとめたので、公表します。

1 調査内容

- (1) 調査期日：平成24年5月1日現在
- (2) 調査対象：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会
- (3) 調査項目：学校数、在学者数、卒業者数、就職者数、進学者数等

2 調査結果の主な概要

- (1) 幼稚園から高等学校までの在学者^(*)は、1,543万6千人で、前年度より12万4千人減少。

① 小学校はここ4年は減少傾向。12万3千人減少し、過去最低を更新。

② 中学校は過去7年ほど、高等学校は過去4年ほど安定的に推移していたが、数年後減少傾向に転じる見込み。

(*)中等教育学校、特別支援学校含む。

- (2) 大学の在学者は、287万6千人で、前年度より1万7千人減少。大学全体、学部学生、大学院生いずれも、長期的に見て増加傾向にあったが、前年度過去最高になり、今年度は減少した。

- (3) 専門学校の在学者は、57万8千人で、前年度より4千人増加。3年連続の増加となった。

- (4) 大学・短大への進学率については、長期的に見て上昇傾向にあったが、平成22年度をピークに、ここ2年は微減。専門学校への進学率は、3年連続で上昇。

① 大学・短大進学率（現役）53.6%（前年度より0.3ポイント低下）

② 大学（学部）進学率（現役）47.7%（前年度と同ポイント）

③ 専門学校進学率（現役）16.8%（前年度より0.6ポイント上昇）

また、過年度卒業者を含む進学率についてもおおむね同様の傾向。

④ 大学・短大進学率（過年度卒含む）56.2%（前年度より0.5ポイント低下）

⑤ 大学（学部）進学率（過年度卒含む）50.8%（前年度より0.2ポイント低下）

⑥ 高等教育機関進学率（過年度卒含む）79.3%（前年度より0.2ポイント低下）

(5) 就職率については、高卒、大卒、大学院卒いずれも、2年連続上昇した。

- ①高卒就職率 16.7% (前年度より0.4ポイント上昇)
- ②大卒就職率 63.9% (前年度より2.3ポイント上昇)
- ③大学院卒就職率(修士課程) 73.3% (0.7ポイント上昇)
- ④大学院卒就職率(博士課程) 67.3% (3.4ポイント上昇)

(6) 大学卒業者の「就職者」のうち「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」を合算すると、12万8千人となる。
これらの安定的な雇用に就いていない者の卒業者に占める割合は、22.9%となった。

その他の主な結果は、別紙のとおり。

<担当> 生涯学習政策局調査企画課

課長 西澤 立志 (内線2254)

専門官 青山 文彦 (内線2016)

学校基本調査係長 松本由布子 (内線2264)

専門職 望月 香里 (内線2264)

電話：03-5253-4111 (代表)

03-6734-2260 (直通)

平成24年度学校基本調査(確定値) 調査結果のポイント

I. 学校数、在学者数、教員数

1. 小学校、中学校、高等学校等

< 在学者 >

- 小学校は、特にここ4年は減少傾向にあり、前年度より12万3千人減少し、過去最低を更新。
- 中学校は過去7年ほど、高等学校は過去4年ほど安定的に推移していたが、数年後減少傾向に転じる見込み。
- 専修学校は、平成17年度以降減少していたが、平成22年度から増加に転じ、高等課程・専門課程とも3年連続で増加。

< 教員数 >

- 教員数のうち、女性の教員数は高等学校と特別支援学校で、過去最高。また、その全体に占める割合も30.3%(前年度より0.5ポイント上昇)と60.1%(前年度より0.2ポイント上昇)で過去最高。

区分	学校数(校)				在学者数(人)				教員数(人)		
	総数	国立	公立	私立	総数	国立	公立	私立	総数 (人)	うち女性(人)	女性の比率 (%)
幼稚園	(-129)	(-)	(-100)	(-29)	(8,055)	(-114)	(-2,996)	(11,165)	(434)	(334)	(-0.1)
	13,170	49	4,924	8,197	1,604,225	5,930	283,327	1,314,968	110,836	103,418	93.3
小学校	(-261)	(-)	(-265)	(4)	(-122,673)	(-1,323)	(-120,992)	(-358)	(-760)	(-726)	(-0.1)
	21,460	74	21,166	220	6,764,619	43,257	6,642,721	78,641	418,707	262,606	62.7
中学校	(-52)	(-)	(-55)	(3)	(-21,158)	(-101)	(-17,678)	(-3,379)	(649)	(909)	(0.2)
	10,699	73	9,860	766	3,552,663	31,580	3,269,759	251,324	253,753	107,344	42.3
高等学校	(-38)	(-)	(-36)	(-2)	(6,354)	(-64)	(-9,631)	(16,049)	(-302)	(1,025)	(0.5)
	5,022	15	3,688	1,319	3,355,609	8,615	2,328,102	1,018,892	237,224	71,784	30.3
中等教育学校	(-)	(-)	(-)	(-)	(1,885)	(290)	(1,533)	(62)	(146)	(61)	(0.7)
	49	4	28	17	28,644	2,859	17,648	8,137	2,192	695	31.7
特別支援学校	(10)	(-)	(10)	(-)	(3,871)	(-6)	(3,890)	(-13)	(1,533)	(1,044)	(0.2)
	1,059	45	1,000	14	129,994	3,056	126,159	779	76,387	45,888	60.1
専修学校	(-17)	(-)	(-1)	(-16)	(4,667)	(-41)	(-323)	(5,031)	(-85)	(177)	(0.6)
	3,249	10	199	3,040	650,501	530	26,897	623,074	40,424	21,014	52.0
うち高等課程	(-7)	(-1)	(-)	(-6)	(833)	(-6)	(-23)	(862)	(81)	(31)	(-0.5)
	452	3	7	442	39,698	23	575	39,100	2,850	1,612	56.6
うち専門課程	(10)	(-)	(-1)	(11)	(3,967)	(-21)	(-307)	(4,295)	(-168)	(144)	(0.6)
	2,847	10	196	2,641	578,119	409	26,294	551,416	36,260	19,083	52.6
各種学校	(-34)	(-)	(-)	(-34)	(-2,441)	(-)	(84)	(-2,525)	(-214)	(-139)	(-0.5)
	1,392	-	9	1,383	120,195	-	880	119,315	8,954	3,604	40.3

(注) ()は、前年度からの増減値である。

2. 大学、短期大学、高等専門学校

< 在学者 >

○ 大学全体、学部学生、大学院生いずれも、長期的に見て増加傾向にあったが、前年度過去最高になり、今年度は減少した。

①大学 2, 876, 134人(前年度より17, 355人減少)

②学部 2, 560, 909人(前年度より8, 440人減少)

③大学院 263, 289人(前年度より9, 277人減少)

○ 大学学部の女子学生は1, 101, 644人(前年度より7, 361人増加)で過去最高。
その占める割合は、43. 0%(前年度より0. 4ポイント上昇)で過去最高。

○ 専門職学位課程の学生は、平成22年度から減少に転じ、3年連続減少。約1, 700人の減少のうち、大部分は法科大学院である(前年度より約1, 500人減少)。

○ 短期大学学生は、平成5年度をピークに、翌年度から減少し続け、平成に入ってから過去最低。

< 教員数 >

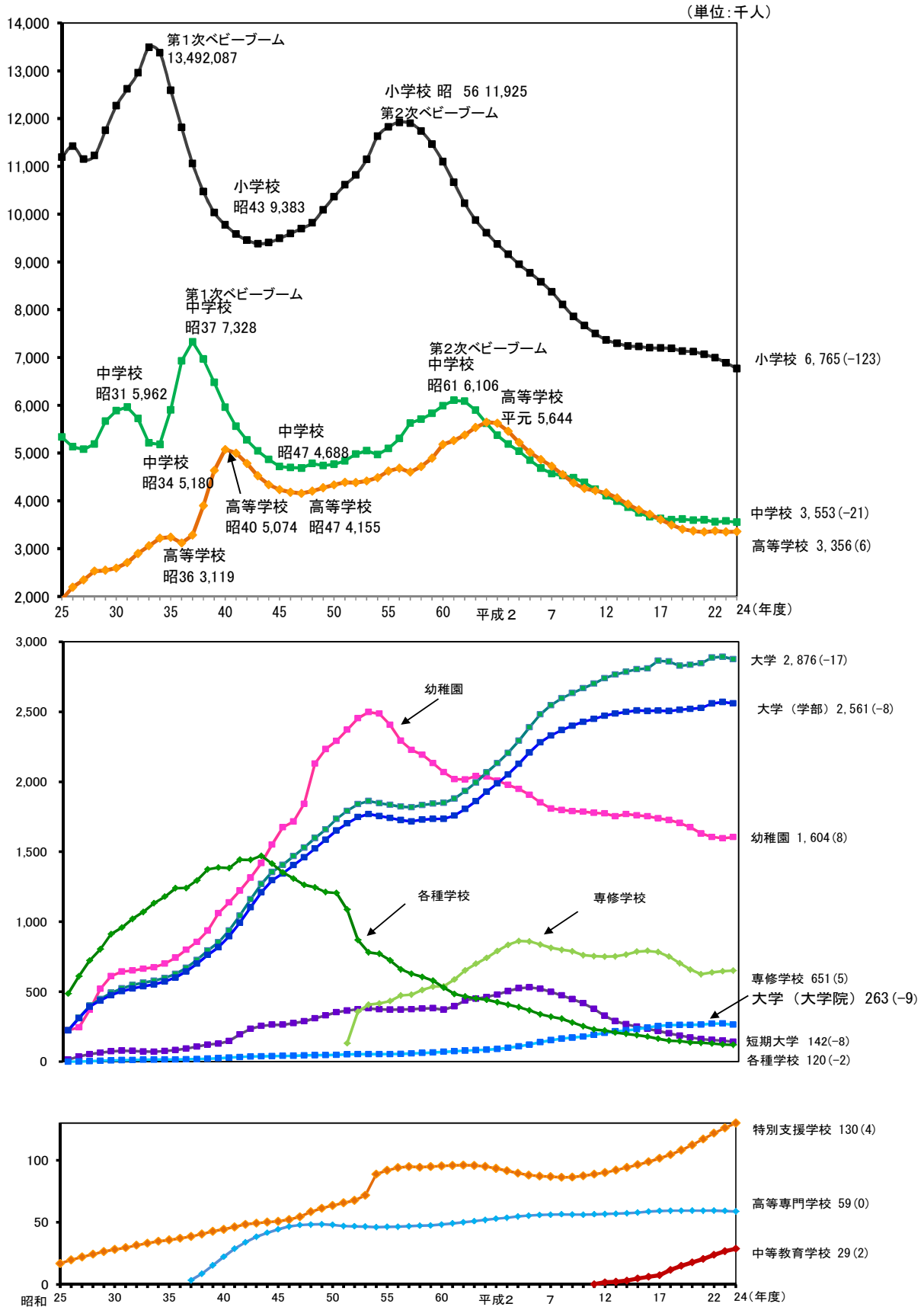
○ 大学全体の女性の教員数については、連続して増加し、37, 720人(前年度より1, 296人増加)で過去最高。また、その教員全体に占める割合は、21. 2%(前年度より0. 6ポイント上昇)で過去最高。

区分	学校数(校)				在学者数						教員数		
	総数	国立	公立	私立	総数			国立	公立	私立	総数		
					(人)	うち女子(人)	女性の比率(%)				(人)	(人)	(人)
大	(3)	(-)	(-3)	(6)	(-17,355)	(5,952)	(0.4)	(-5,170)	(1,396)	(-13,581)	(886)	(1,296)	(0.6)
学	783	86	92	605	2,876,134	1,206,134	41.9	618,134	145,578	2,112,422	177,570	37,720	21.2
うち学部					(-8,440)	(7,361)	(0.4)	(-2,024)	(1,798)	(-8,214)			
					2,560,909	1,101,644	43.0	448,810	126,300	1,985,799			
うち大学院	(4)	(-)	(-)	(4)	(-9,277)	(-2,074)	(0.3)	(-3,095)	(-317)	(-5,865)			
	621	86	75	460	263,289	80,460	30.6	154,768	16,276	92,245			
うち修士課程	(2)	(-)	(-)	(2)	(-7,077)	(-1,471)	(0.3)	(-2,412)	(-359)	(-4,306)			
	584	86	71	427	168,903	50,413	29.8	96,532	10,898	61,473			
うち博士課程	(8)	(1)	(1)	(6)	(-463)	(18)	(0.3)	(-411)	(77)	(-129)			
	436	77	56	303	74,316	24,492	33.0	51,437	4,590	18,289			
うち専門職学位課程	(1)	(-)	(-)	(1)	(-1,737)	(-621)	(-0.6)	(-272)	(-35)	(-1,430)			
	128	45	6	77	20,070	5,555	27.7	6,799	788	12,483			
うち法科大学院					(-1,529)	(-490)	(-0.6)	(-305)	(-16)	(-1,208)			
					9,679	2,675	27.6	3,388	265	6,026			
短期大学	(-15)	(-)	(-2)	(-13)	(-8,037)	(-7,166)	(-)	(-)	(-570)	(-7,467)	(-358)	(-177)	(-)
	372	-	22	350	141,970	125,469	88.4	-	7,917	134,053	8,916	4,496	50.4
高等専門学校	(-)	(-)	(-)	(-)	(-455)	(118)	(0.3)	(-477)	(-48)	(70)	(-20)	(19)	(0.5)
	57	51	3	3	58,765	9,515	16.2	52,814	3,956	1,995	4,337	333	7.7

(注) 1 ()は、前年度からの増減値である。

2 大学の在学者数には、専攻科・別科の学生、聴講生等を含む。

【参考】各学校段階ごとの在学者数の推移



- (注) 1 ()内の数は、前年度からの増減値(単位:千人)である。
 2 特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。
 3 大学の在学者には、専攻科・別科の学生、聴講生等を含む。

Ⅱ. 卒業後の状況

1. 高等学校(全日制・定時制)卒業生(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ。)

- 就職率は2年連続で上昇し、16.7%(前年度より0.4ポイント上昇)。
- 大学・短大進学率は、平成22年度をピークに、ここ2年は微減し、53.6%(前年度より0.3ポイント低下)。
- 大学・短大入学志願率も、平成22年度をピークに、ここ2年は微減し、60.6%(前年度より0.7ポイント低下)。
- 専門学校進学率は3年連続上昇し、16.8%(前年度より0.6ポイント上昇)。

(人、%)

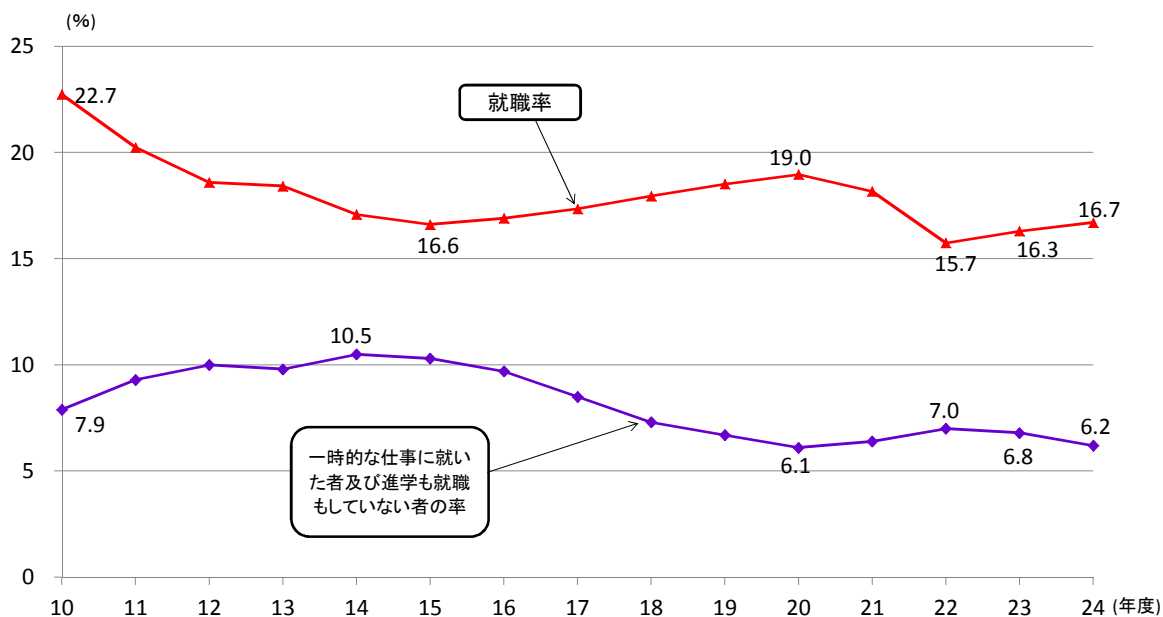
区分	大学・短大進学者(率)	専門学校進学者(率)	就職者(率)	一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡
平成15年度	572,181 (44.6)	241,949 (18.9)	212,864 (16.6)	…	132,276 (10.3)	282
16	560,055 (45.3)	237,279 (19.2)	208,907 (16.9)	27,003 (2.2)	92,666 (7.5)	216
17	568,710 (47.3)	228,867 (19.0)	208,747 (17.3)	22,855 (1.9)	78,922 (6.6)	267
18	578,525 (49.4)	213,122 (18.2)	210,442 (18.0)	19,232 (1.6)	66,434 (5.7)	140
19	587,999 (51.2)	193,156 (16.8)	212,635 (18.5)	16,358 (1.4)	59,962 (5.2)	410
20	575,659 (52.9)	167,092 (15.3)	206,628 (19.0)	12,862 (1.2)	53,757 (4.9)	230
21	574,333 (53.9)	156,363 (14.7)	193,615 (18.2)	13,592 (1.3)	54,678 (5.1)	158
22	582,272 (54.3)	170,352 (15.9)	168,727 (15.7)	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)	299
23	573,679 (53.9)	172,200 (16.2)	173,566 (16.3)	14,994 (1.4)	56,965 (5.4)	369
24	565,779 (53.6)	177,486 (16.8)	176,931 (16.7)	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)	283

- (注) 1 「就職者」には大学・短大、専門学校等に進学した者のうち就職している者を含む。
 2 「進学も就職もしていない者」には、予備校に通っていない進学準備者を含む。

$$3 \text{ 大学・短大進学率} = \frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部の専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$

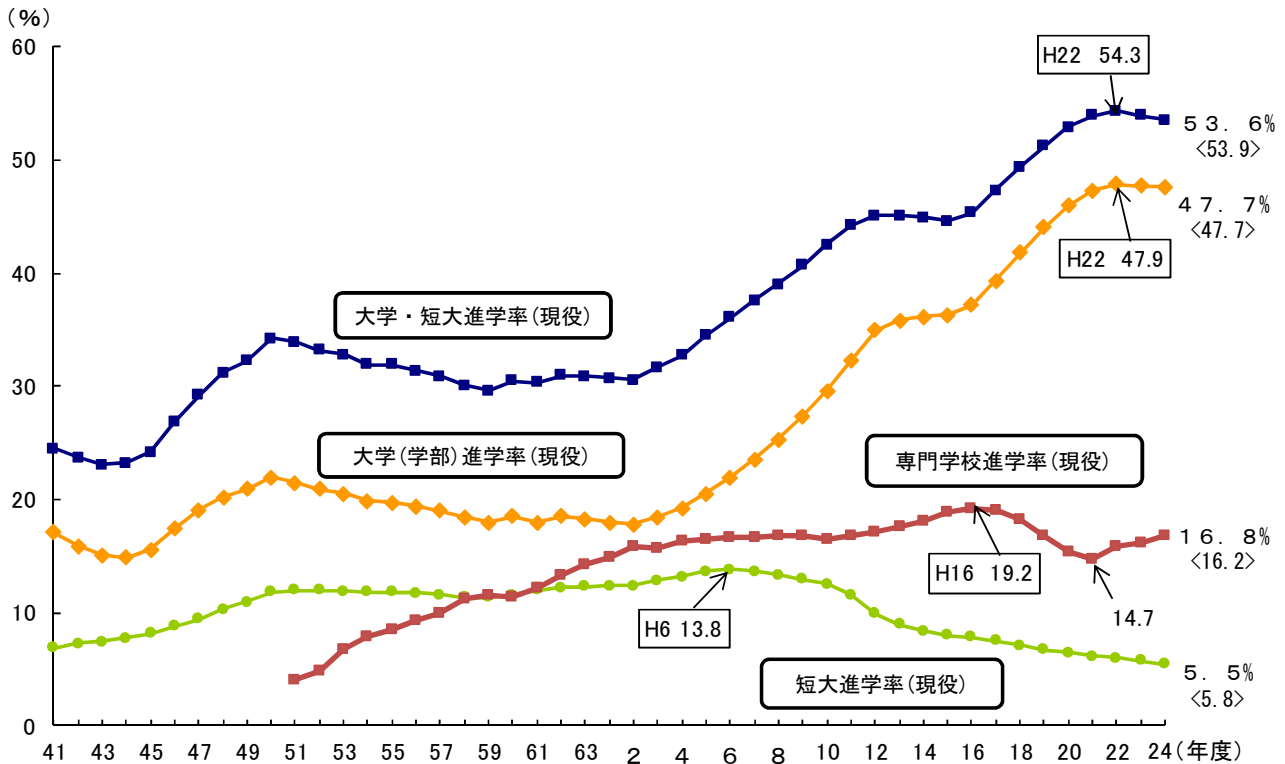
$$4 \text{ 就職率} = \frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$

(1) 就職状況



(2) 進学状況

① 高等学校卒業者の進学率の推移(現役進学率)



(注) 1 <>は前年度の数値である(以下同じ)。

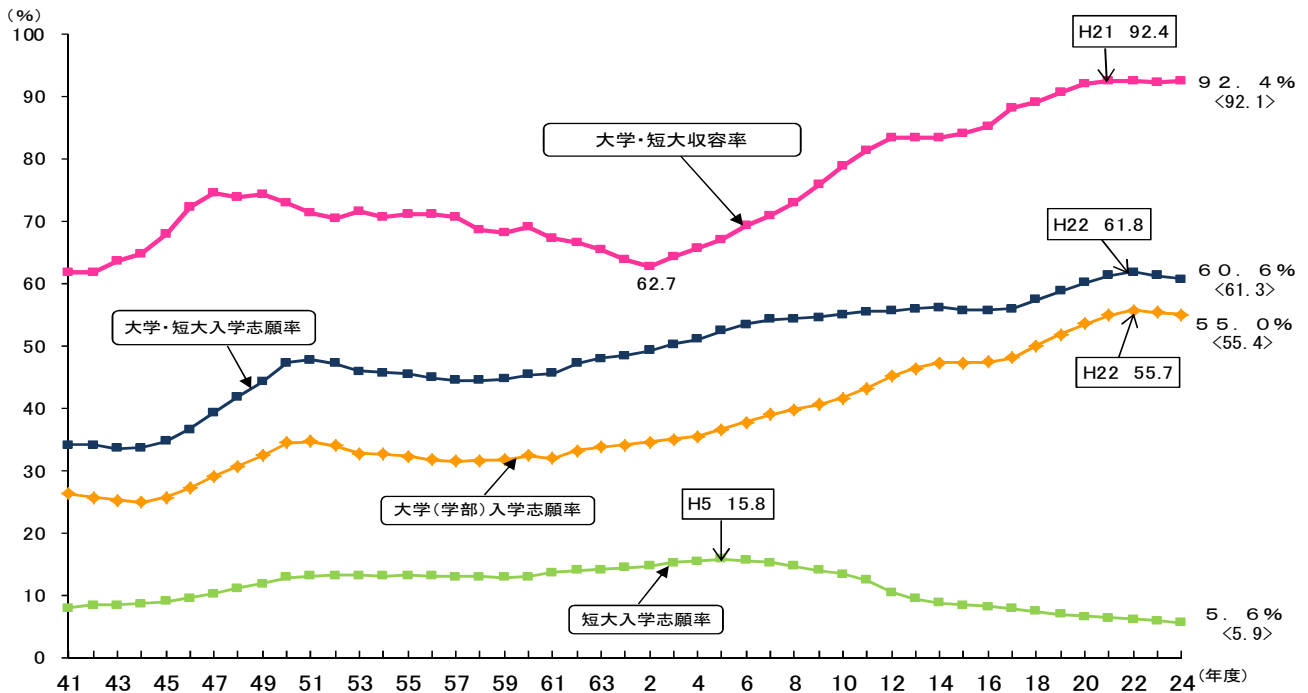
2 図中の枠囲いは、最高値である(以下同じ)。

大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部専攻科に進学した者

3 大学・短大進学率(現役) =

各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者

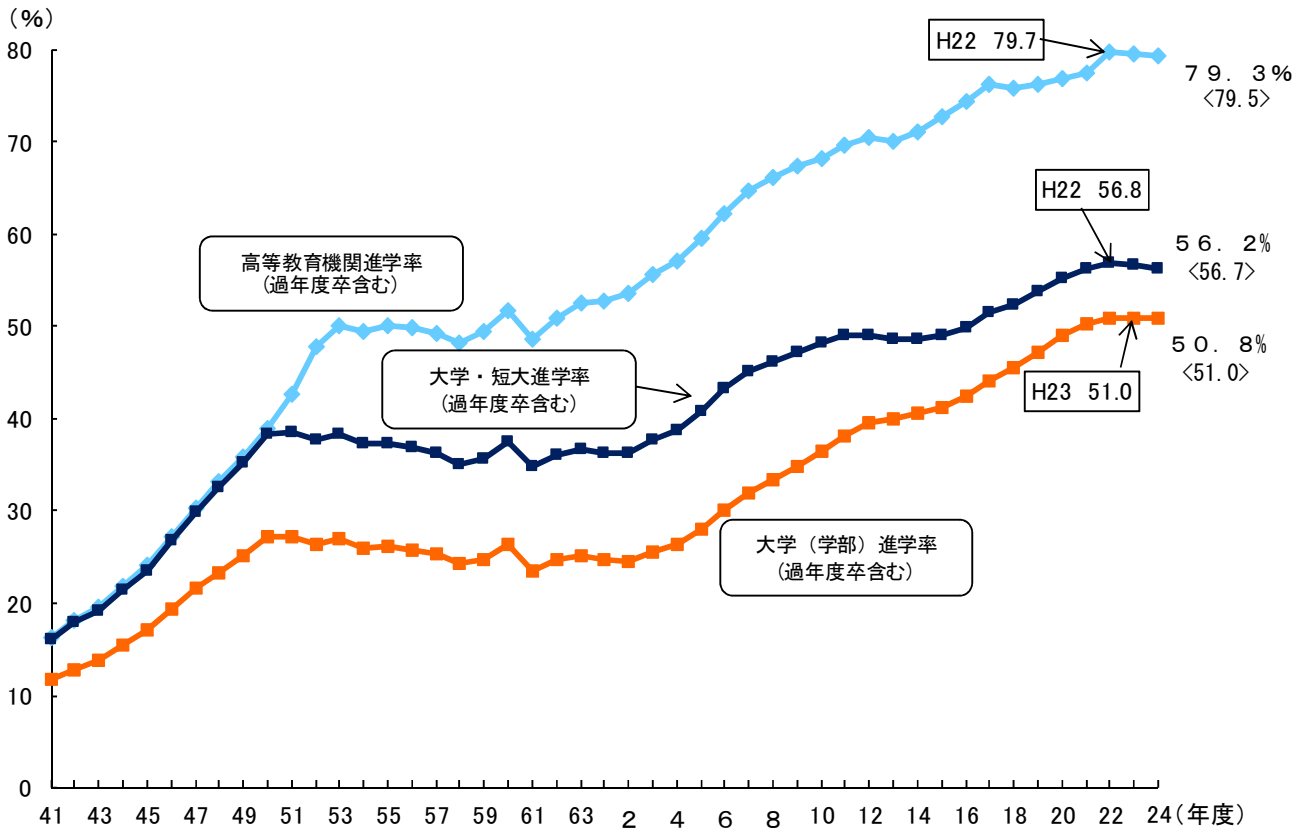
② 入学志願率、収容率の推移



(注) 1 入学志願率 = $\frac{\text{入学志願者数(実数)}}{\text{各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$

2 収容率 = $\frac{\text{大学・短期大学の入学者数}}{\text{高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者の入学志願者数(実数)}}$

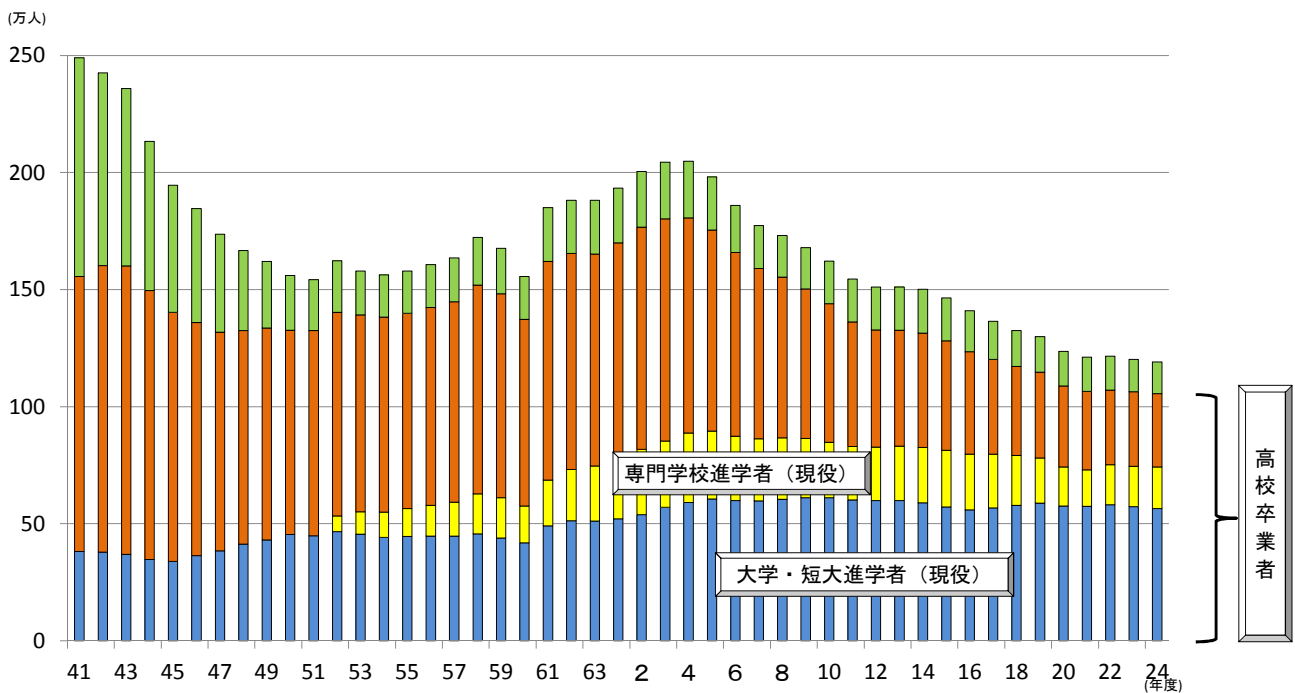
③ 過年度卒業者を含めた進学率の推移



(注) 1 高等教育機関進学率 (過年度卒含む) = $\frac{\text{大学・短期大学入学者、高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

2 大学(学部)進学率(過年度卒含む) = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

【参考】高校卒業者と進学者数の推移



3. 大学(学部)卒業生

- 進学率はゆるやかな上昇傾向にあったが、平成22年度をピークに、2年連続低下し、13.8%(前年度より1.2ポイント低下)。
- 就職率は、平成22年度に急激に低下したが、その後2年連続で上昇し、63.9%(前年度より2.3ポイント上昇)。
- 就職者35万7千人のうち、2万2千人は「正規の職員等でない者」であり、卒業者に占める割合は、3.9%である。
- 「正規の職員等でない者」と「一時的な仕事に就いた者」、「進学も就職もしていない者」を合算すると、12万8千人となり、安定的な雇用に就いていない者の卒業者に占める割合は、22.9%である。

(人(%))

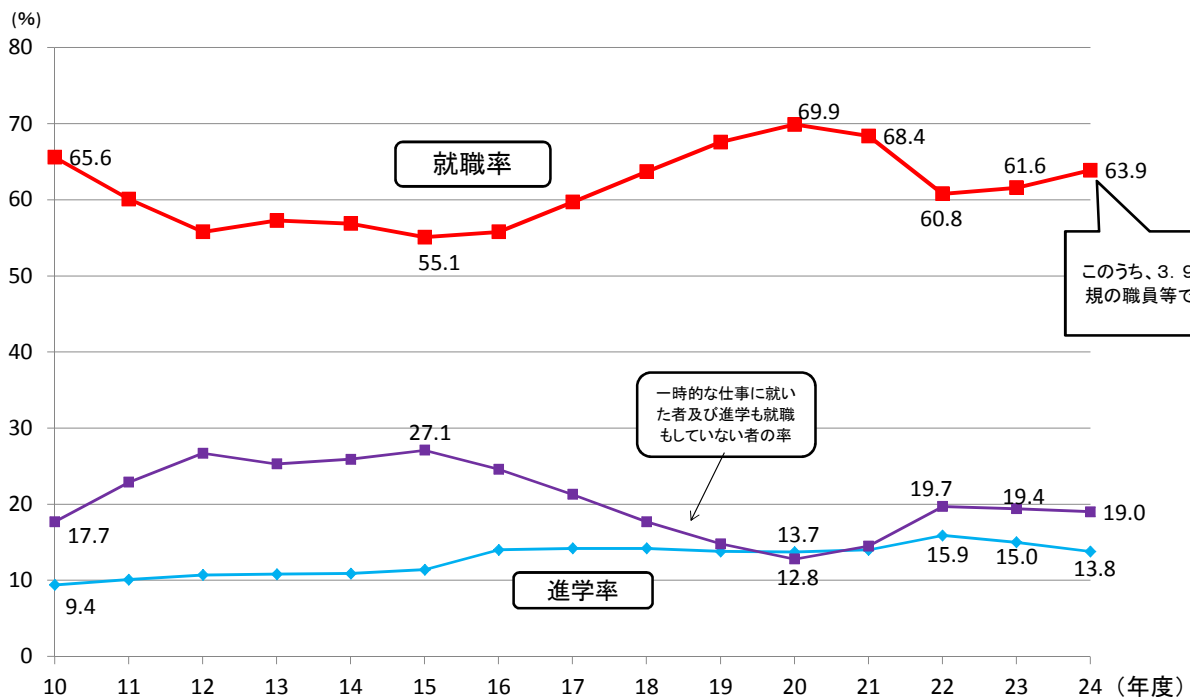
区分	卒業生	進学者(率)	就職者(率)		一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡	
			※<>は臨床研修医を含めた場合	うち正規の職員等でない者(率)				
平成15年度	544,894	62,251 (11.4)	299,987 (55.1)	<56.6>	...	25,255 (4.6)	122,674 (22.5)	26,605 (4.9)
16	548,897	77,022 (14.0)	306,414 (55.8)	<57.3>	...	24,754 (4.5)	110,035 (20.0)	22,699 (4.1)
17	551,016	78,169 (14.2)	329,125 (59.7)	<61.2>	...	19,507 (3.5)	97,994 (17.8)	18,398 (3.3)
18	558,184	79,337 (14.2)	355,820 (63.7)	<65.4>	...	16,659 (3.0)	82,009 (14.7)	15,108 (2.7)
19	559,090	77,165 (13.8)	377,776 (67.6)	<69.2>	...	13,287 (2.4)	69,296 (12.4)	12,503 (2.2)
20	555,690	76,343 (13.7)	388,480 (69.9)	<71.5>	...	11,485 (2.1)	59,791 (10.8)	10,803 (1.9)
21	559,539	78,265 (14.0)	382,485 (68.4)	<70.0>	...	12,991 (2.3)	67,894 (12.1)	8,904 (1.6)
22	541,428	86,039 (15.9)	329,190 (60.8)	<62.5>	...	19,332 (3.6)	87,174 (16.1)	10,807 (2.0)
23	552,358	82,657 (15.0)	340,217 (61.6)	<63.2>	...	19,107 (3.5)	88,007 (15.9)	13,521 (2.4)
24	558,692	76,856 (13.8)	357,088 (63.9)	<65.5>	21,993 (3.9)	19,569 (3.5)	86,566 (15.5)	9,797 (1.8)

22.9%

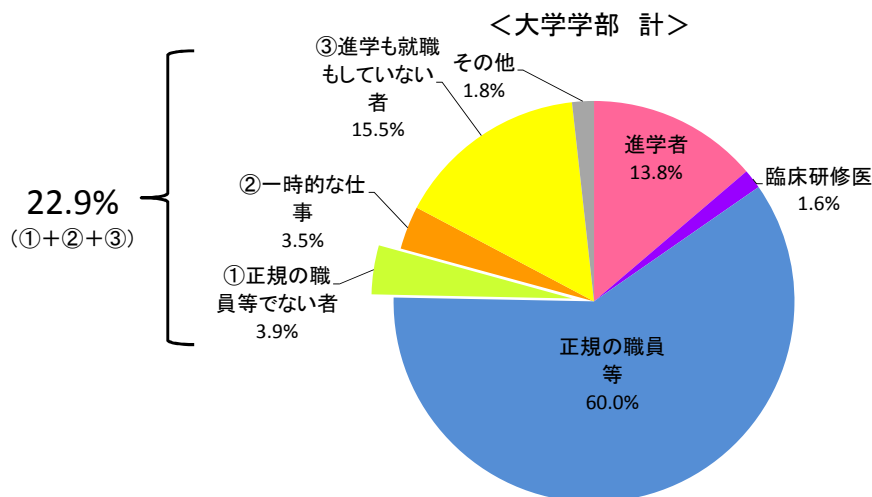
- (注) 1 卒業生数は、表章された内訳のほか、臨床研修医(予定者含む)(平成24年度8,893人)を含めた合計。
 2 「就職者」とは、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事(自家・自営業を含む)に就いた者をいう。なお、就職者には、「大学院等への進学者のうち就職している者」を含む。
 3 就職者のうち、「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30~40時間の者をいう。(P9参照)
 4 就職率のうち、<>は臨床研修医を就職者に含めた場合の卒業者に占める割合。

5 進学率 =
$$\frac{\text{大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科、専修学校、外国の学校へ入学した者}}{\text{各年3月の大学学部卒業生}}$$

6 就職率 =
$$\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の大学学部卒業生}}$$

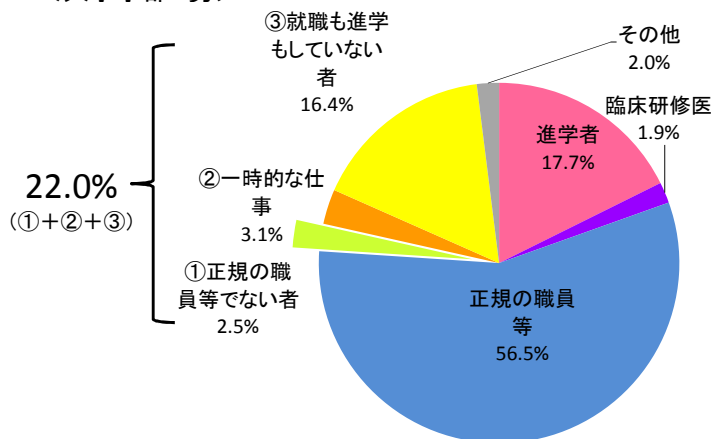


(1) 就職者の状況

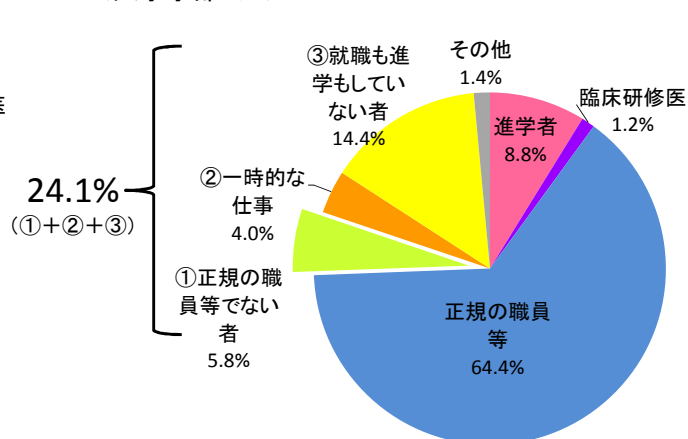


(注) 1 各項目の数値は卒業者に対する比率である。
 2 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。また、就職者には進学しかつ就職した者を含むため、各項目の計が100を超える場合がある。

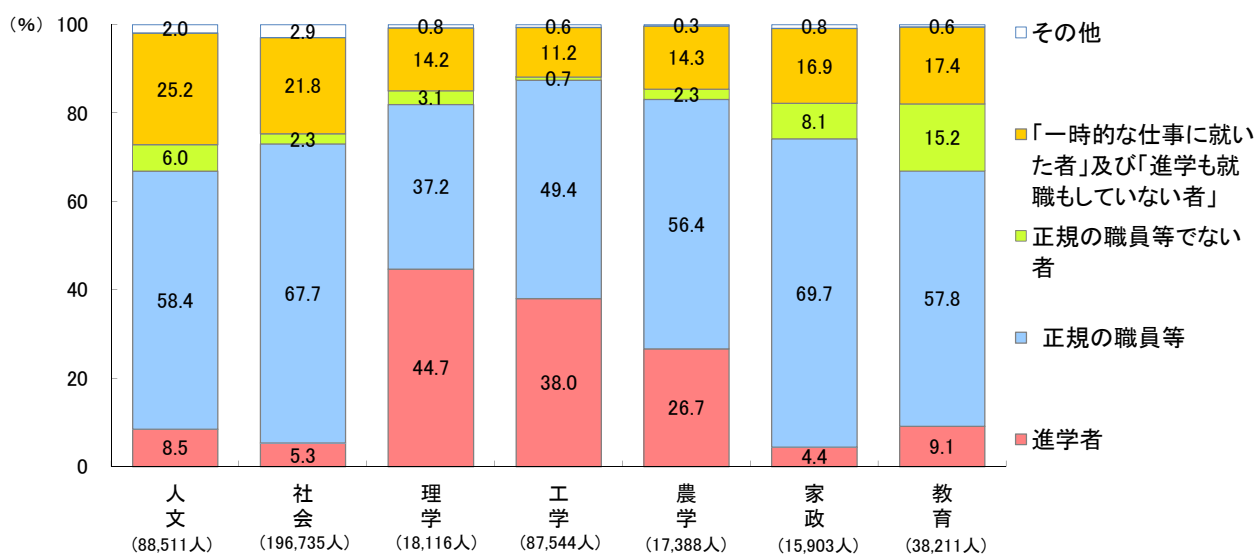
＜大学学部 男＞



＜大学学部 女＞

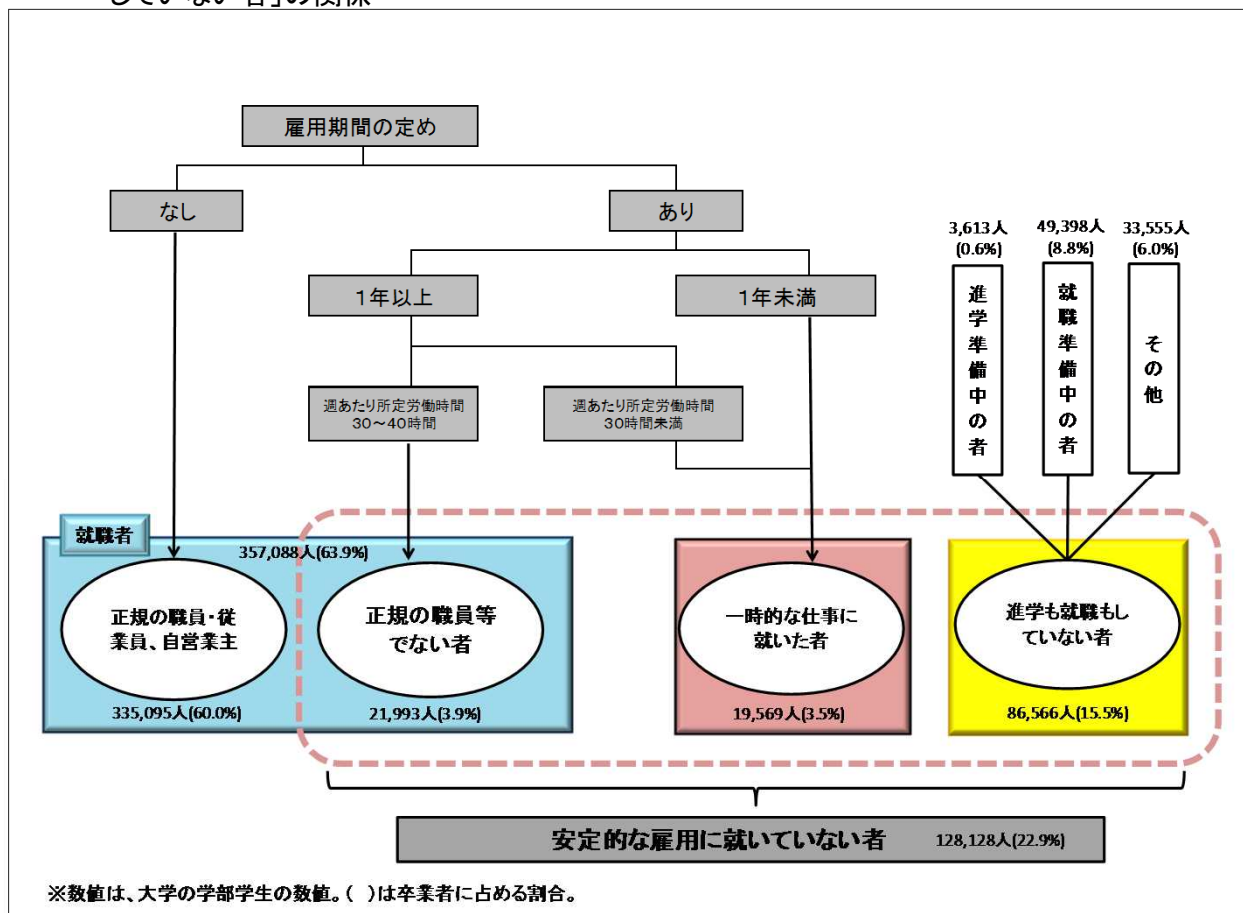


(2) 分野別の卒業者の状況

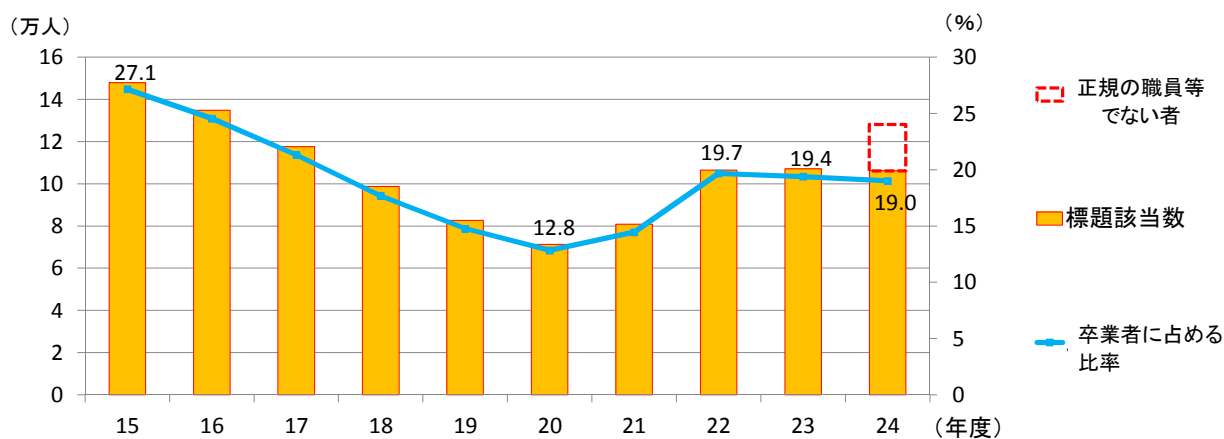


(注) 1 各項目の数値は卒業者に対する比率である。
 2 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。また、就職者には進学しかつ就職した者を含むため、各項目の計が100を超える場合がある。
 3 教育分野の正規の職員等でない者には、教員の臨時的任用を含む。

【参考】「就職者」の「正規の職員等」・「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」、「進学も就職もしていない者」の関係



【参考】一時的な仕事に就いた者、進学も就職もしていない者の推移



【参考】「進学も就職もしていない者」の内訳

(人、%)

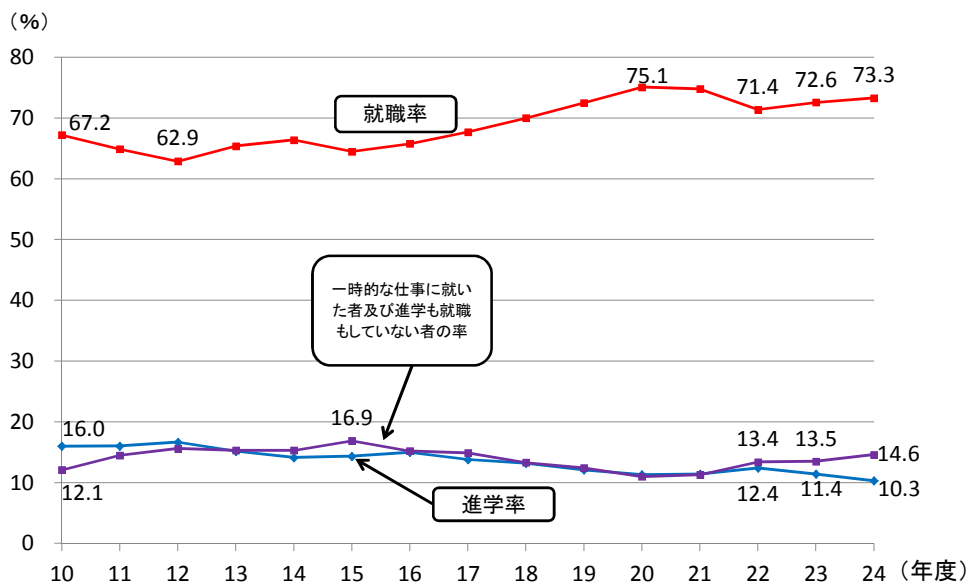
区分	計	進学準備中の者	就職準備中の者	その他
計	86,566	3,613 (4.2)	49,398 (57.1)	33,555 (38.8)
男	51,022	2,029 (4.0)	30,647 (60.1)	18,346 (36.0)
女	35,544	1,584 (4.5)	18,751 (52.8)	15,209 (42.8)

4. 修士課程修了者

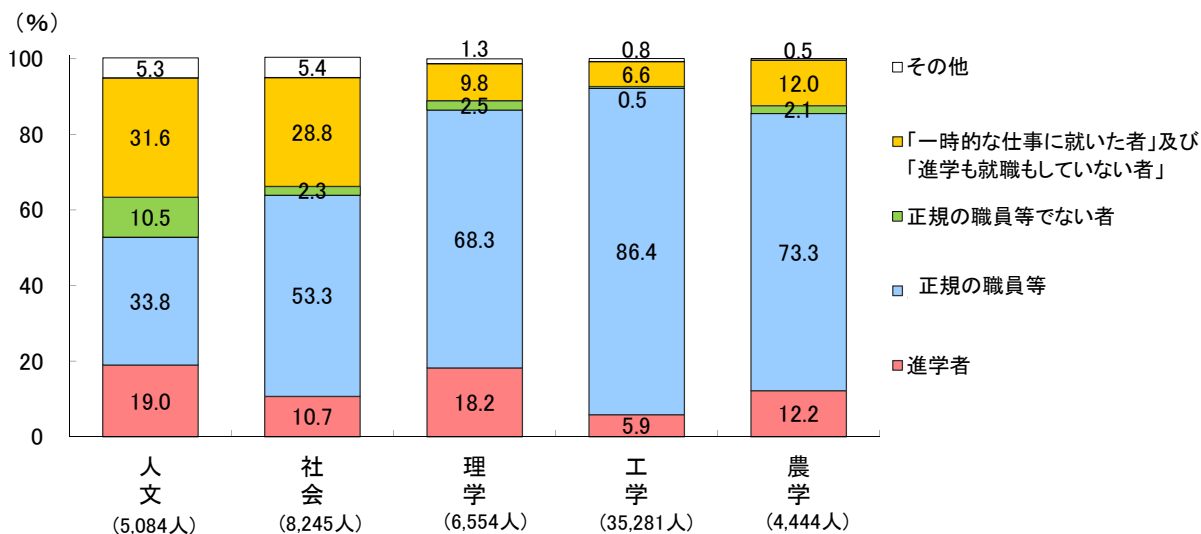
○ 就職率は2年連続で上昇し、73.3%（前年度より0.7ポイント上昇）。このうち、正規の職員等でない者は、2千5百人で、卒業者に占める割合は3.1%である。

区 分	修了者	大学等進学者(率)	就職者 (率)		一時的な仕事に就いた者 (率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡
			うち正規の職員等でない者	(率)			
平成15年度	67,412	9,670 (14.3)	43,464 (64.5)	...	—	11,370 (16.9)	3,071 (4.6)
16	69,073	10,339 (15.0)	45,426 (65.8)	...	873 (1.3)	9,616 (13.9)	3,028 (4.4)
17	71,440	9,834 (13.8)	48,357 (67.7)	...	1,002 (1.4)	9,673 (13.5)	2,731 (3.8)
18	72,531	9,560 (13.2)	50,782 (70.0)	...	1,023 (1.4)	8,618 (11.9)	2,712 (3.7)
19	73,993	8,918 (12.1)	53,638 (72.5)	...	969 (1.3)	8,197 (11.1)	2,472 (3.3)
20	73,881	8,348 (11.3)	55,480 (75.1)	...	961 (1.3)	7,150 (9.7)	2,158 (2.9)
21	73,811	8,379 (11.4)	55,243 (74.8)	...	944 (1.3)	7,411 (10.0)	2,053 (2.8)
22	73,220	9,101 (12.4)	52,278 (71.4)	...	1,099 (1.5)	8,687 (11.9)	2,281 (3.1)
23	74,680	8,508 (11.4)	54,188 (72.6)	...	997 (1.3)	9,048 (12.1)	2,121 (2.8)
24	78,711	8,123 (10.3)	57,659 (73.3)	2,455 (3.1)	1,199 (1.5)	10,266 (13.0)	1,692 (2.1)

17.7%



専攻分野別の修了後の状況

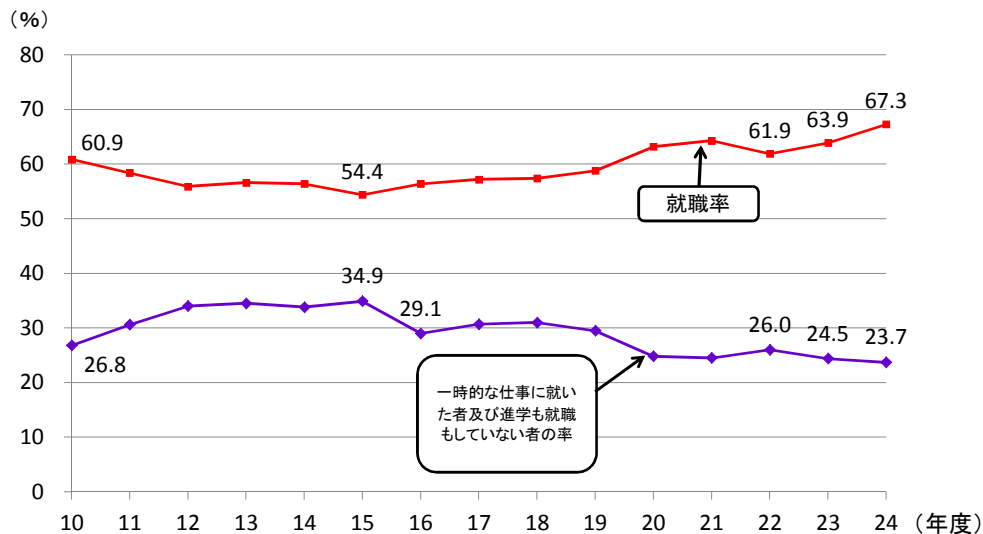


5. 博士課程修了者

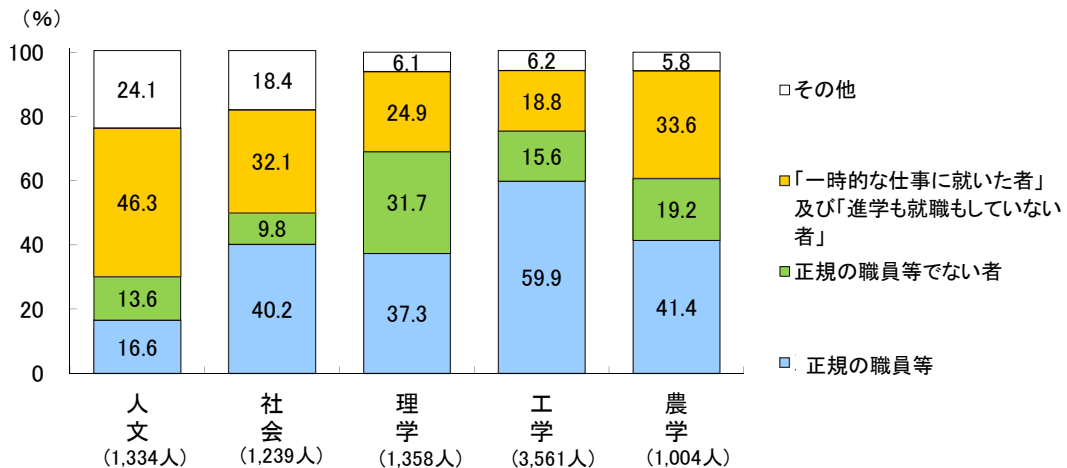
○ 就職率は2年連続で上昇し、67.3%(前年度より3.4ポイント上昇)。このうち、正規の職員等でない者は、2千4百人で、卒業者に占める割合は14.8%である。

区 分	修了者	就職者 (率)		一時的な仕事に就いた者 (率)	進学も就職もしていない者 (率)	不詳・死亡(率)
			うち正規の職員等でない者 (率)			
平成15年度	14,512	7,898 (54.4)	...	—	5,062 (34.9)	1,389 (9.6)
16	15,160	8,557 (56.4)	...	492 (3.2)	3,916 (25.8)	1,736 (11.5)
17	15,286	8,746 (57.2)	...	753 (4.9)	3,950 (25.8)	1,436 (9.4)
18	15,973	9,167 (57.4)	...	730 (4.6)	4,216 (26.4)	1,469 (9.2)
19	16,801	9,885 (58.8)	...	808 (4.8)	4,146 (24.7)	1,557 (9.3)
20	16,281	10,288 (63.2)	...	695 (4.3)	3,340 (20.5)	1,569 (9.6)
21	16,463	10,579 (64.3)	...	636 (3.9)	3,386 (20.6)	1,502 (9.1)
22	15,842	9,812 (61.9)	...	950 (6.0)	3,171 (20.0)	1,559 (9.8)
23	15,892	10,160 (63.9)	...	1,022 (6.4)	2,867 (18.0)	1,502 (9.5)
24	16,260	10,937 (67.3)	2,408 (14.8)	855 (5.3)	3,003 (18.5)	1,145 (7.0)
うちポストドクター等	<1,834>	...	<1,067>	<289>	<478>	...

- (注) 1 博士課程の「修了者」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む(以下同じ)。
 2 ポストドクター等とは、博士の学位を取得した者又は所定の単位を修得の上博士課程を退学した者(いわゆる「満期退学者」)のうち、任期付きで採用されている者で、
 ① 大学や大学共同利用機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の学校教育法第92条に基づく教育・研究に従事する職にない者
 ② 独立行政法人等の公的機関(国立試験研究機関、公的試験研究機関含む。)において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等の管理的な職にない者
 3 ポストドクター等のうち、「正規の職員等でない者」は1年以上の雇用契約かつフルタイム勤務相当の典型的なポストドクター、「一時的な仕事に就いた者」は1年未満の雇用契約又は短時間勤務の研究員、「進学も就職もしていない者」は無給の研究員が想定される。
 4 ポストドクターは年度の途中で採用される例もあり、年間を通じての採用者は上記の数より増えることが見込まれる。



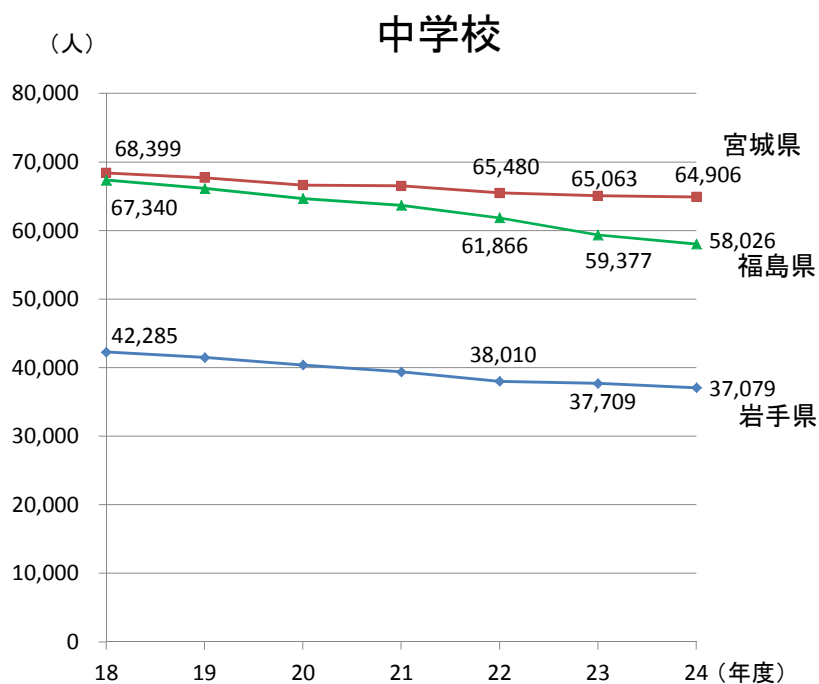
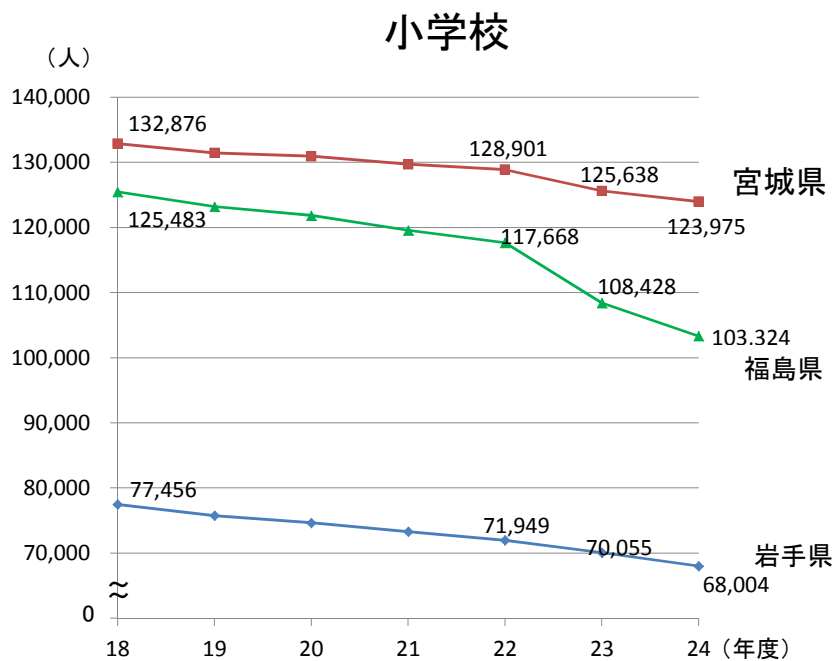
専攻分野別の修了後の状況



Ⅲ. 岩手県、宮城県、福島県の状況

1. 学校数、在学者数の推移

○ 震災後の3県の在学者については、とりわけ福島県の小学校で減少幅が大きい。



2. 卒業後の状況

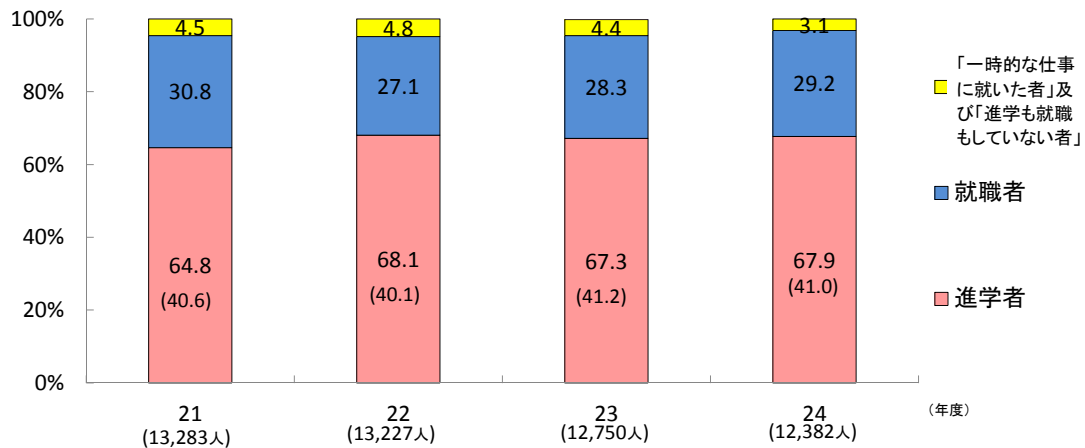
(1) 高等学校(中等教育学校後期課程含む)卒業者の状況の推移

- 3県いずれにおいても、就職率については、全国の傾向と同様に、2年連続で上昇している。
- 大学・短大進学率(現役)については、震災後もおおむね横ばいである。
- 高等学校卒業者の就職者のうち、県外へ就職した者の割合を見ると、震災後、宮城県及び福島県で上昇している。

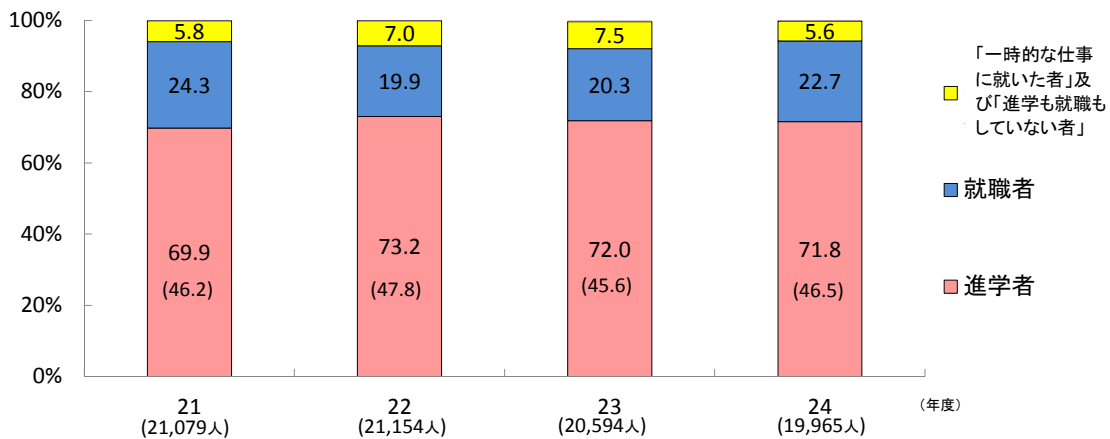
※全国平均値は、進学者77.1%(うち、大学・短大進学者(現役)53.6%)、就職者16.7%、一時的な仕事に就いた者及び進学も就職もしていない者6.2%である。

(注) 1 進学者とは、大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科、高等学校・特別支援学校高等部専攻科及び専修学校専門課程に進学した者、専修学校一般課程、各種学校、公共職業能力開発施設等入学者をいう(以下同じ)。
2 進学者のうち、()は大学・短期大学進学率(現役)。

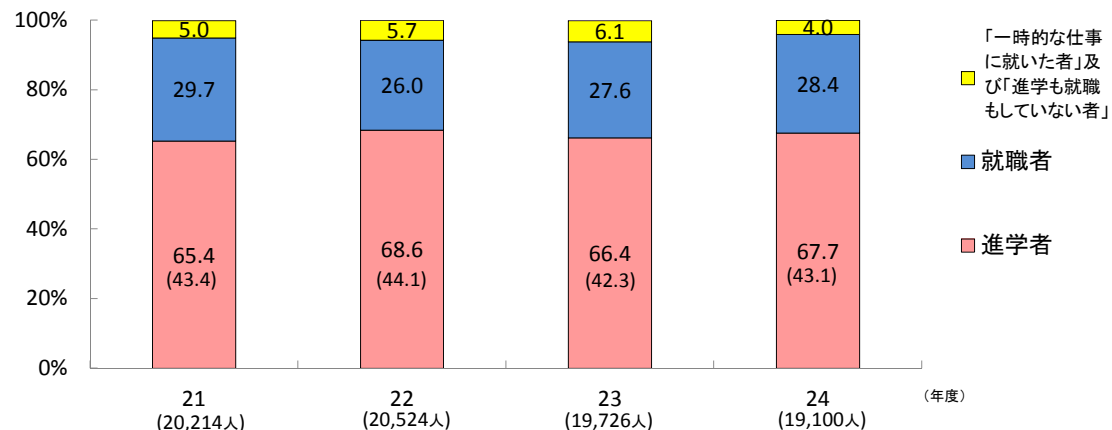
① 岩手県



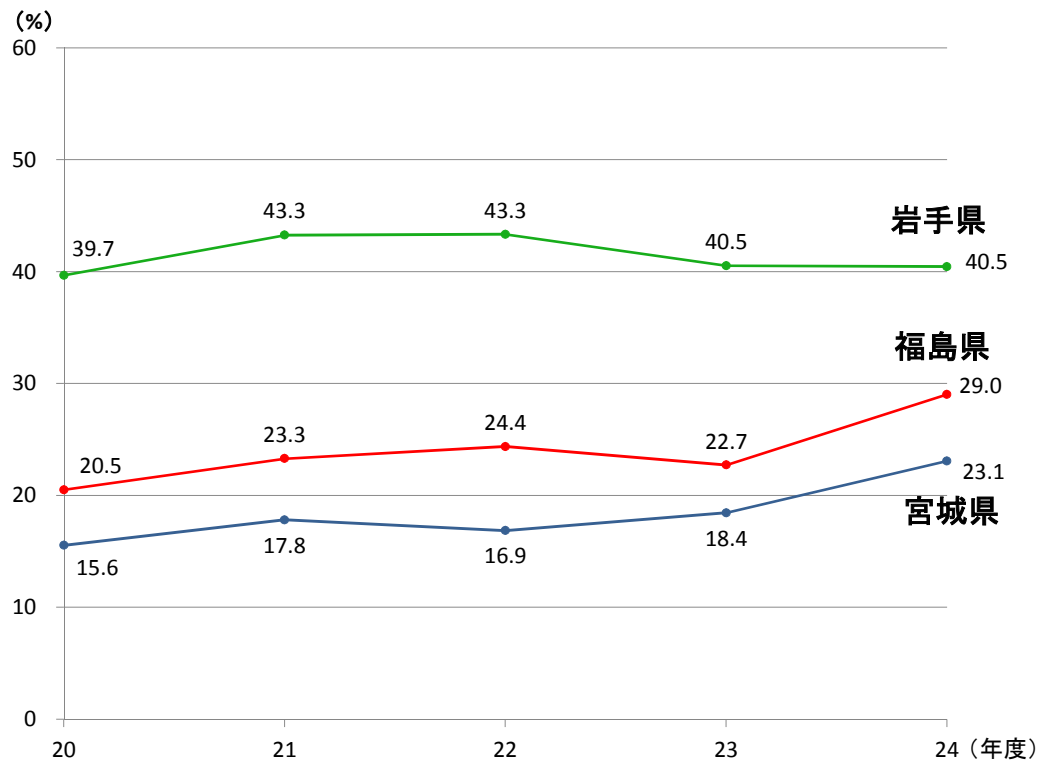
② 宮城県



③ 福島県



(2) 高等学校卒業者の県外就職率の状況



【参考】就職者のうち卒業した高等学校が所在する都道府県外に就職した者の割合
(就職者の県外就職率)

